平成 26 年第 2 回評議員会議事録

日時：平成 26 年 7 月 5 日（土） 13：00−15：15
場所：キャンパスイノベーションセンター東京 2 階多目的室 1
出席者：足立伸一、雨宮慶幸、五十嵐教之、井上　豪、奥部真樹（男女共同幹事）、尾関智二（広報幹事）、神山　崇、久保田佳基（情報幹事）、栗栖源嗣（庶務幹事）、黒岩芳弘、佐々木聡、菅原洋子、杉山和正（編集幹事）、鈴木　守、関根あき子、千田俊哉（行事幹事）、高田昌樹、禾　晃和（会計幹事）、三木邦夫（会長）、宮原郁子、姚　閔、山縣ゆり子
委任状出席者：上村みどり、神谷信夫、坂田　誠、佐藤　衛、鳥海幸四郎、西堀英治、樋口芳樹、渡邉信久
欠席者：清水敏之、中井　泉、濡木　理

（五十音順）

議事

報告事項

1　幹事報告

1.1 庶務幹事報告（栗栖庶務幹事）

平成 26 年 3 月 28 日から平成 26 年 6 月 27 日までの会員の異動状況が報告された。6 月 27 日現在、会員数が 1203（個人会員 1183 名、賛助会員 20 社）となった。学会共催等依頼については共催依頼 11 件、協賛依頼 10 件、後援依頼 1 件が報告された。

1.2 会計幹事報告（禾会計幹事）

平成 25 年決算案が報告された。平成 25 年度会計の会計監査が井上評議員により行われ、適正な運用であることが報告された。平成 27 年度予算案が報告された。

1.3 編集幹事報告（杉山編集幹事）

会誌（印刷版、pdf 版、デジタルブック版）の発行状況、電子版の新着案内状況が報告された。また、平成 27 年 1 号掲載予定の特集号について準備状況が報告された。

1.4 行事幹事報告（千田行事幹事）

平成 26 年度年会（田之倉優実行委員長、東京大学本郷キャンパス、平成 26 年 11 月 1-3 日）の開催準備状況について、三木会長から田之倉実行委員長の代理として説明があった。平成 27 年度年会（久保田佳基実行委員長、大阪府立大学なかもずキャンパス、平成 27 年 10 月 17-18 日[暫定]）の開催準備状況が報告された。その他、平成 26 年度の講習会「薄膜結晶の評価：基礎と応用」（平成 27 年 1 月 15 日、キャンパスイノベーションセンター東京）の準備状況が報告された。

1.5 情報幹事報告（久保田情報幹事）

Web の定常的な更新作業に加え、IYCr2014 の Web 発信状況について報告された。また、日本における IYCr2014 アクティビティーを示すため、Web ページから関連事業・行事を登録頂きたい旨のお願いがなされた。学会として年会受付システムを構築中であり、平成 26 年度、平成 27 年度年会で順次導入していく方針が報告された。

1.6 広報幹事報告（尾関広報幹事）

特に報告するべき案件はなかった。

1.7 男女共同参画推進幹事報告（奥部男女共同参画推進幹事）

男女共同参画学協会連絡会第 12 期第 1 回運営委員会（平成 26 年 6 月 24 日）の開催が報告された。

2 AsCA 関係

栗栖 AsCA 評議員より、P. Chakravarti 会長（インド）による AsCA 新執行部の始動が報告された。

3 日本学術会議関係

日本学術会議結晶学分科会幹事の山縣評議員より、22 期分科会の活動報告と 23 期結晶学分科会の存続希望を提出した旨が報告された。また、7 月の臨時総会で 23 期学術会議会員と同連携会員の候補者の承認が行われ、10 月 1 日より発令の見込みであることが報告された。

4 IUCr 関係

日本学術会議 IUCr 分科会幹事の菅原評議員より、22 期の終了にあたり、日本学術会議へ分科会の活動を総括した資料を提出したことが報告された。また、IUCr2014 の総会へ日本から代議員として 4 名が出席することが報告された。

5 世界結晶年の取り組み

IUCr 日本委員会実行委員会幹事の井上評議員より、世界結晶年について、実行委員会（委員長：高田評議員）で進められている活動・企画の詳細が報告された。各評議員が普及活動を進めるにあたり、ポスターやパンフレットの重要性が指摘され、ポスターは Web からダウンロードできるよう対応することが決まった。

6 「日本の結晶学（II）」出版関係

佐々木編集副委員長より、ISBN 番号を取得し 2014 年 7 月 31 日に CD-ROM 版を発行予定であることが報告された。各会員には日本結晶学会誌 8 月号と一緒に CD-ROM が配布される予定であるとの報告があった。また、印刷体の製作について大橋編集委員を中心に検討を行うことが了承された。

7 平成 28 年度年会開催候補地について

三木会長より、平成 28 年度年会開催候補地および年会長候補者を検討中であると報告があった。

審議事項

1. 会員異動

平成 26 年度第 1 回評議員会以降の新規入会者の紹介、入会申込書類の回覧があり、全ての入会が承認された。

2. 共催・協賛・後援

共催等依頼について共催依頼 11 件、協賛依頼 10 件、後援依頼 1 件が承認された。

3. 平成 25 年度予算決算、平成 27 年度予算案

平成 25 年度決算、平成 27 年度予算が承認された。

4.　年会受付システムの運用について

導入が進められている年会受付システムの運用に関して、鈴木評議員から on-line 決済の可能性について意見があり、議論の結果、当面は見送る方針が説明され了承された。

5.　男女共同参画学協会連絡会規約の改定について

奥部幹事より、男女共同参画学協会連絡会規約の改定について賛同の提案があり、日本結晶学会として改定内容を承認した。

6.　AsCA 新評議員について

中川敦史 AsCA 評議員の任期満了に伴い、三木会長から足立伸一会員を後任に推薦したいとの提案があり、承認した。

7.　学会賞

平成 26 年度学会賞選考委員会の答申を受け、三木会長より受賞候補者として 4 名の会員が推薦され、承認された。各賞の受賞者、受賞題目は以下のとおりである。

西川賞：田中勲会員（北海道大学　大学院先端生命科学研究院）
「タンパク質結晶学方法論の開発と
遺伝子翻訳・発現に関わるタンパク質の構造研究」

学術賞：千田俊哉会員（高エネルギー加速器研究機構　物質構造科学研究所）
「エピジェネティックおよび疾病関連タンパク質の構造生物学研究」

進歩賞：西増弘志会員（東京大学　大学院理学系研究科）
「巨大なリボヌクレオ複合体および二機能性酵素の結晶構造解析」

進歩賞：藤井孝太郎会員（東京工業大学　大学院理工学研究科）
「未知構造解析を用いた有機結晶の反応機構の解明
および酸化物イオン伝導性無機結晶の新物質探索」

8.　リガクファンドの活用

栗栖庶務幹事より、幹事会として日本結晶学会が共催する「対称性・群論トレーニングコース」に対し、リガクファンドを活用して必要経費を支援したいとの提案がなされた。世話人（奥部男女共同参画幹事、五十嵐評議員、神山評議員）を代表して奥部男女共同参画幹事よりトレーニングコース開催の経緯が説明された後、了承された。また、今後、結晶学会が同様のトレーニングコースを主催する可能性について積極的な議論がなされ、行事委員会を中心に検討することが了承された。

9.　その他

三木会長より、学会賞選考委員会から学会賞推薦・選考の手続きに関して複数の改善案が示されたことが報告された。「学会賞推薦・選考手順の明瞭化ＷＧ」の設置が提案され、平成 27 年度の学会賞選定に間に合うように運用していくことが承認された。

栗栖庶務幹事より、財政状況を改善するため経費削減策（冊子体学会誌の未送付希望者の募集など）と、選挙を含めた会員サービスの電子化を検討開始することが提案され、承認された。

栗栖庶務幹事より、PF-UA（佐藤衛会長）から文部科学大臣へ提出が予定されている「フ

ォトンファクトリーにおける放射光実験ビームタイムの確保に関する要望書（案)」への賛同が提案され、千田行事幹事より要望書提出に至った経緯が説明された後、学会として趣旨に賛同することが承認された。

10. 次回評議員会日程

次回（平成 26 年度第 3 回）評議員会の仮日程、会場について、平成 26 年 10 月 31 日(金)16:00–18:00、東京大学本郷キャンパスが提案された。最終的な、日時・場所は、決定次第連絡することとした。

以上